



堀岡 敏喜 議員

小・中学校の耐震化率は100%を目指すべきではないか

あり、先送りは許されないと
思うがどうか。



耐震補強工事が行われる弥生小学校

22年度末までに完了させる計画で進める

市長

22年度末までには校舎の耐震化を完了させる計画を進めていく。

問

四川大地震では学校校舎が倒壊し、多くの子どもたちが犠牲になった。小・中学校の耐震化率は現在どのようになっているのか。

答 教育部次長

20年度当初で63%である。学校は災害時、地域の防災拠点としての役割もある。

目指すべきは100%で

エコハイブリッド街灯の設置を

電柱の無い所は早い時期にソーラーライトという方向で考えていきたい。

問

エコハイブリッド街灯は太陽光電池と風力発電機を備え、CO₂排出量はゼロである。避難所に設置すれば、地球温暖化防止の啓発になると考えるがどうか。

21年は2つの学校で実施したい

市長

環境教育の一環として、21年は2つの学校で実施していこうと思っている。

問

洞爺湖サミット開催日の7月7日を弥富クールアースデーと宣言し、施設や家庭等の電力使用を一定時間控えるライトダウン運動を推進する機

会を設けてはどうか。

市長

筏川の噴水や水郷の塔は(国の)ライトダウンキャンペーンに参加していきたい。公共施設から対応していきたい。

使用済み携帯電話の再資源化PRを

問

使用済み携帯電話には金などレアメタルが含まれ、有効な資源回収ができる。しかし、消費者の認知度が低いので、情報提供が必要であると思うがどうか。

広報で住民に啓発していきたい

答 環境課長

今後のメーカーのさらなるアイデアに期待すべきであると考えている。

しかし、こういった面についても広報で広く住民に啓発をしていきたい。